
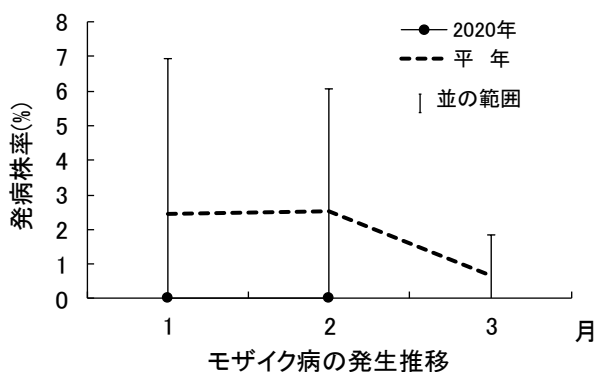


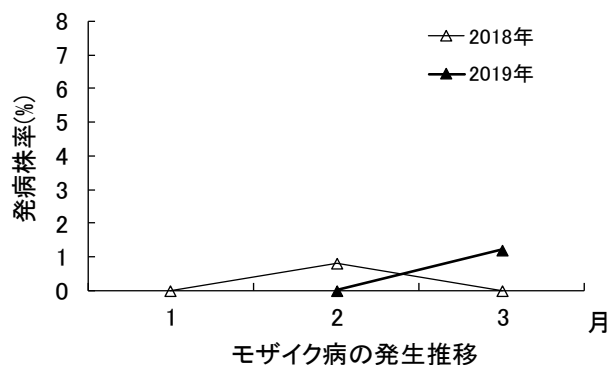
作物	かぼちゃ(1月植え)	地域	宮古群島
病害虫名	① モザイク病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並	
	2 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	媒介虫(アブラムシ類有翅虫)が確認されたため 果実の肥大・成熟に伴い草勢が低下するため	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



- ・発生ほ場率：0.0%（平年値：19.4%）
- ・関係機関の情報によると一部ほ場で発生あり

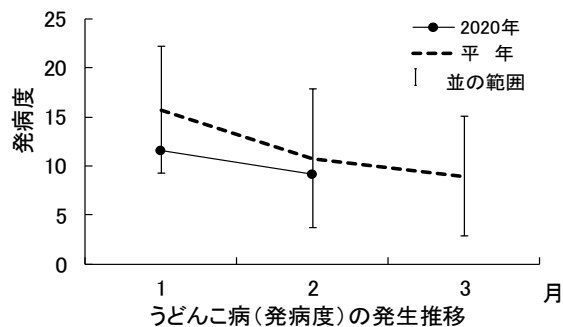
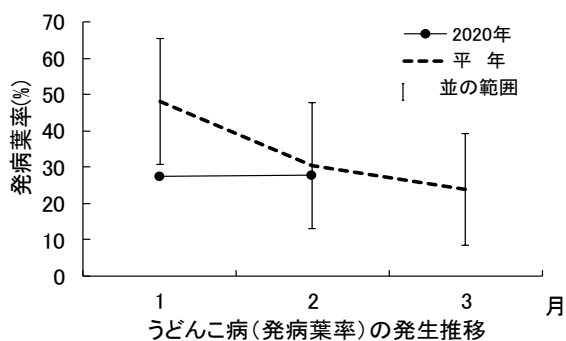
防除のポイント

- ・ほ場周囲に防風対策を兼ねたソルゴーや防虫ネット等を設置し、媒介虫であるアブラムシ類の飛来侵入を防ぐ。
- ・媒介虫の密度が低くても感染力は高いので、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。
- ・本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒、洗浄を行う。

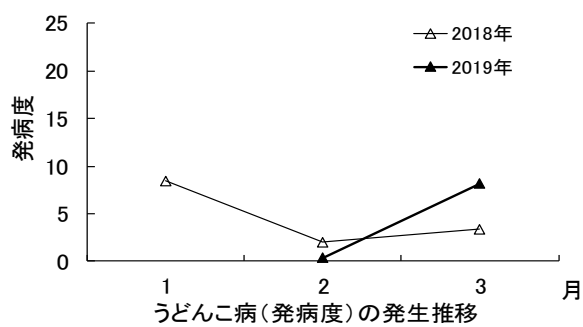
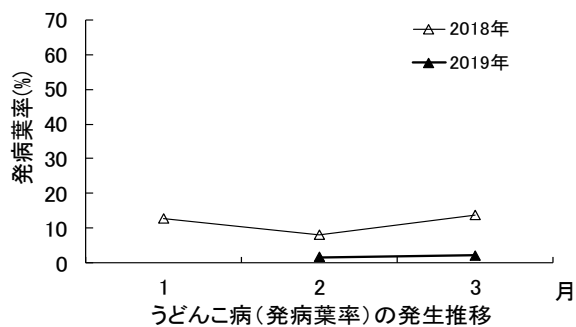
作物	かぼちゃ(1月植え)	地域	宮古群島
病害虫名	② うどんこ病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並	
	2 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：100% (平年値：77.4%)

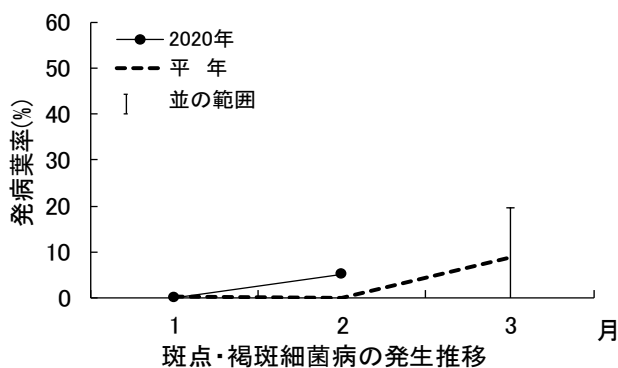
防除のポイント

- ・着果期以降は草勢の低下に伴い被害が急激に広がる場合があるので防除を徹底する。
- ・発生源となる老葉や不要な下葉を除去し、透光通風を良くする。
- ・窒素質肥料の多施用を避け、予防散布を行う。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

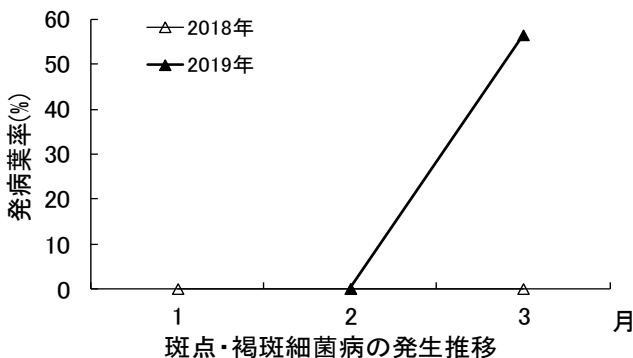
作物	かぼちゃ(1月植え)	地域	宮古群島
病害虫名	③ 細菌病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並~やや多	
	2 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：60.0% (平年値：0.0%)

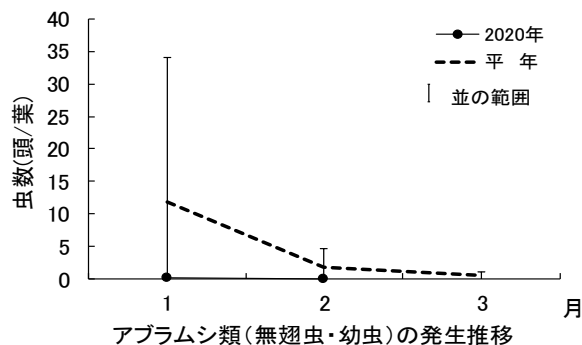
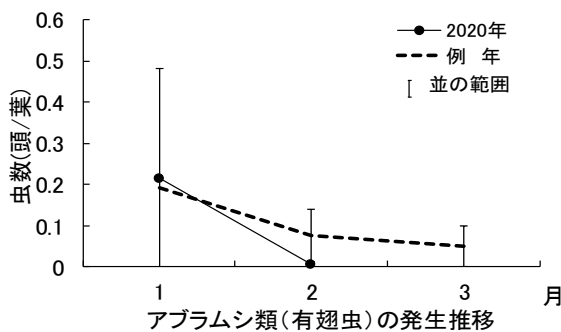
防除のポイント

- ・強風による葉すれ等の傷口から感染するため、防風垣（ソルゴーや防風ネット等）を設置する。
- ・降雨や強風などの気象条件が続くと急激に広がる場合があるので、風雨前の予防散布を徹底する。

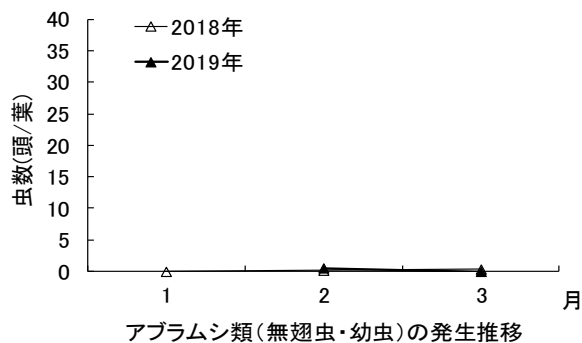
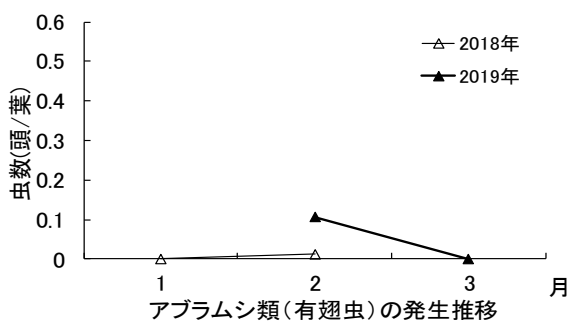
作物	かぼちゃ(1月植え)	地域	宮古群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
予報	3 月の発生量 (平年比)	並~やや少	
	2 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	やや少	
	その他 (気象要因など)	有翅虫の平年の発生量の推移 (→) 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



・発生ほ場率：20.0% (平年値：45.0%)

防除のポイント

- ・ほ場周辺に防風対策を兼ねた防虫ネットやソルゴー等を設置し、有翅虫の飛来侵入を防ぐ。
- ・葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ほ場周辺の雑草はアブラムシ類の発生源になるので除去する。
- ・本種はウイルス病を媒介する。



有翅虫